



2023年11月10日

各位

会社名 ニューラルグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 重松 路威
(コード番号: 4056 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 種 良典
(TEL 03-5157-2345)

特別損失の計上、法人税等調整額(益)の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日発表の2023年12月期第3四半期連結会計期間(2023年7月1日～2023年9月30日)の連結決算において、下記の通り特別損失及び法人税等調整額(益)を計上しましたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に開示いたしました2023年12月期通期連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2023年12月期第3四半期連結会計期間において、収益性の低下が見込まれる固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当社が保有する共用資産について減損会計処理を適用し、固定資産の減損損失63百万円を計上しました。

2. 法人税等調整額(益)の計上

税務上の繰越欠損金の発生に伴い繰延税金資産を計上したこと等により、法人税等調整額(益)17百万円を計上いたしました。

3. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	(百万円) 4,000	(百万円) 10	(百万円) 2	(百万円) △100	(円銭) △6.92
今回修正予想(B)	3,200	△630	△638	△630	△42.54
増減額(B-A)	△800	△640	△640	△530	—
増減率(%)	△20.0	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2022年12月期)	2,878	△311	△307	△909	△63.32

4. 連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、第1四半期におけるデジタルック事業の事業規模拡大に向けての施策について、当初計画では新規採用した人材について、営業管理体制、KPI管理の構築3ヶ月程度で生産性が立ち上がることを想定していましたが、しかしながら、実際は採用した人材の人員入替や個々の素質にあわせた配置転換を完了させるのに時間を要し、想定と異なる結果になりました。生産性の立ち上がりや営業管理体制の構築が当初より遅れた結果として、前回予想を800百万円減額修正し、3,200百万円としました。

営業利益につきましては、積極採用による先行投資を実施して、前期末から第3四半期末現在で合計83名増員しました。そのうち、子会社であるニューラルマーケティング社の増員が72名であり、営業人員の積極投資・採用に成功し、採用のノウハウが蓄積されました。育成のノウハウについても大きな成果があった一方、当初想定していた売上高の伸長の遅れに加えて、事業拡大に向けた人員増や人材強化のための採用費等の増加などにより、前回予想を640百万円減額修正し、△630百万円としました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券の売却により発生した利益や、減損損失による特別損失の発生を踏まえて、前回予想を530百万円減額修正し、△630百万円としました。

詳細につきましては、2023年11月10日に開示いたしました「2023年12月期 第3四半期 決算説明資料」をご参照ください。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上